



小さな愛の種を蒔こう  
**FVI「声なき者の友」の輪**  
 Friends with the Voiceless International

ネット  
 からし・ネット公開中  
<http://www.karashi.net>

世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪  
 ニュースレターVol. 39 (2020年9月発行)

## コロナ時代の「集まり」

新型コロナの影響で「三密」を避ける自粛が求められる中、教会も従来のように集まる事が制限されオンラインの利用が普及し始めています。海外・県外に転居した方々が集会に参加してくれるなど、感謝なことは多々あるのですが、果たしてこれが「いっしょに集まる」ことになっているのかという課題は残ります。この時期、信仰の迫害を受け、監視下に置かれている教会から学ぶ必要があると考えます。「三密」を避けざるを得ない状況で、「二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしもその中に入っています。」と言われた主の言葉に従って、意識的に、少人数で交わり（教会堂ではなく、公園・喫茶店・食堂など少人数なら集まる事が許されている場所を用いて）、集まっているのです。まだ信仰の迫害に直面していない私たち日本の教会も、ともすると形骸化しかねなかった「集会」を脱し、ぬくもりのある人間性豊かな「集まり」を回復する好機として捉えたらいかがでしょうか。

代表カタリスト・神田英輔

## バングラデシュ 複合災害支援協力の報告 その2



4月半ば、長い間、交流のあるバングラデシュ南西部の現地団体から「Covid-19 緊急事態 応援要請」を受け、日本も大変な中、皆さまからの協力金を送金して3か月半。5月半ばに大型サイクロンに直撃され、コロナだけでなく、サイクロン被害という複合災害に遭った人々への支援になりました。堤防が決壊し家を流された避難者のために「密集しない」「屋外」「直接触れない」という対策のもと、450家族に食料支援（写真左）が行われました。また、日雇いの仕事を失った人々に、サイクロンでごみや塩水が流入した5つの生活用水池での復旧工事という雇用の機会を提供しました（写真右）。トイレが流され、コロナ禍で近所の人にトイレ使

用を断られて惨めな思いをしたサルマさんは、日本の支援でトイレを再建できた一人です。「私の味わった思いを誰もしなくて済むように、このトイレは近所の必要な人に貸し出したい」と喜びの感想を伝えてくれました。コロナ禍に、日本から「隣人愛」の輪が広がっていることを感謝したいと思います。

## コロナ時代の「隣人」とは誰か？

### ～コロナ禍を分断の契機としないための「想像力」～

皆様の祈りと想いが託されたコロナ支援金を、バングラデシュでの感染対策活動のために届けることができました。インドの感染者数がまもなく世界一になると予測されるなど、南アジアでは過酷な状況が続いています。私たちのパートナーが活動しているインド、バングラデシュのために続けて覚えてお祈りいただけますと幸いです。一方で、私たちの足下から一人ひとりが隣人愛を実践するというのも、FVIは強調し続けてきました。では、コロナ時代の隣人とは誰なのでしょう？ルカによる福音書10章で、律法学者に質問をされたイエスは有名な「良きサマリヤ人の喩え」を語られた後、「あなたも行って、同じようにしなさい(ルカ10:37)」と言われました。コロナ禍において、この喩えは重要な意味を帯びます。サマリヤ人の喩えに登場する「強盗に襲われたある人」、「レビ人と律法学者」および「サマリヤ人」は、それぞれ「文脈を共有していない」というのが大切です。

コロナ禍にはある逆説(パラドックス)があります。それは「全員が同じ経験をしながら、全員が違う経験をしている」ということです。70億人がパンデミックという「同じ事象」に直面しながら、住む国、居住地域、勤めている会社の業種、一人暮らしか家族と生活しているか、高齢か若者か、子どもがいるかどうか、その子どもが就学しているかいないか、、、などの違いにより、1,000人がいれば1,000通りの「コロナ経験」があるわけです。そのような中で、「前提の違いを乗り越えて」他者に憐れみを覚え、隣人愛を実行したサマリヤ人の実践に学ぶところは大きいと思います。「表面的には同じように見える他者が、実はまったく違う経験をしている」ことを知り、その他者の痛みに憐れみの行動を示すために必要なのは「想像力」です。「自分とは違う経験をしている他者」に思いを致し、想像力を働かせていくことこそ、コロナを分断の契機にではなく、連帯の契機にしていくために必要なことだと思われています。私たちも皆様と共に「声なき者の友」のひとりとなり、社会の分断を癒す「変革の触媒」となれるよう祈ります。

## その他の活動(2020年6月～8月)

練馬グレースチャペル、練馬神の教会、東京武蔵野福音自由教会、立川福音自由教会、キリスト教放送局 FEBC、帝京科学大学(以上東京都)、いのちの樹教会、川口福音自由教会、戸田福音自由教会(以上埼玉県)、東京基督教大学、聖望キリスト教会(以上千葉県)、関東学院中学校高等学校(神奈川県)、万座温泉ホテル(群馬県)などで、カタリストとしての奉仕をさせていただきました。参加して下さった方々、共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

## 働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。

\*このレターは、希望された方に郵送させていただきます。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

\*国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776(神田)